

資料 5

令和 4 年度

事業計画書

社会福祉法人 登別千寿会

1. 社会福祉法人 登別千寿会 事業計画

◎法人 基本方針

『人間愛』を基調とした処遇に徹し、利用者の人格を尊重し、より家庭的な雰囲気の中で自由に生活することをモットーに、全職員一体となり“明るく健康的で、生き甲斐のある豊かな生活”の為、精神的ニーズの把握に努め、個々の特性をよく理解し、豊かな人間関係をすすめ処遇向上に努める。

【事業方針】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の終息が見えぬ中で、感染防止策を講じながら、令和3年度は5月6月に新型コロナワクチン接種を行い、令和4年2月には3回目の追加接種を行いました。

新型コロナ感染防止のための対策は今年度も引き続き行いながら、利用者及び家族、関係者に対するサービスの質の向上を目指すとともに、地域貢献にも積極的に取り組んでいき、地域に根ざした事業を行ってまいります。

また、令和3年度に、ベトナム人介護職員が特別養護老人ホーム緑風園に2名配属となり、今後、外国人労働者が増えていくことも予想されることから、職員に選ばれる施設となるために、職員ひとりひとりの資質の向上を目指し、現在、正規職員のみに行っている「人事考課制度」を準職員にも拡大し、職員教育を向上させるとともに、介護職員の業務負担の軽減も含め、介護記録等の電子化やタブレット端末の活用、利用者データの国への報告等について、施設のICT化を進めていきます。

2. 特別養護老人ホーム緑風園 事業計画

◎介護老人福祉施設 定員：105名

◎(介護予防)短期入所生活介護事業所 定員：7名

【事業方針】

令和3年4月に特養の定員を105名、ショートステイの定員を7名に変更し、特養入所待機者の解消に繋がれたことから、令和4年度も引き続き空床期間をなるべく短くし、新規入所者の迅速な調整と、在宅の特養待機者には、積極的にショートステイの利用を促進し、各関係機関との連携により、ショートステイ利用者の確保に努めていきます。

施設開設から39年、増築から23年が経過し、設備の老朽化が進んできている為、計画的な改修・更新を行い、利用者が安心して楽しく暮らせる施設を目指します。

<<各部門事業計画案>>別紙1～5参照

『今年度目標』

- ・出来る限り空床を作らない様、新規入所者を10日以内に入所させる。
- ・ショートステイの利用者人数は、1日平均4名、1ヶ月の平均稼働率40%～60%を目指す。

3. デイサービスセンター緑風園 事業計画

◎地域密着型通所介護 定員：18名

◎通所型サービスA 定員：7名

【事業方針】

要介護利用者の利用に重点を置き、要支援者の利用も含め、1日の利用人数16名平均を目指していく。

他事業所への営業を積極的に行い曜日別の空き情報の提供、デイサービス体験など積極的に行い、新規利用者獲得に繋げていき、欠席された利用者への振替利用の促しなどにより、稼働率の向上に繋げる。

また、地域住民・町内会等へのデイ体験会・見学会を開催し、広報活動に努めます。

<<部門事業計画案>>別紙6参照

『今年度目標』

- ・1日の利用人数平均16名を目指し、居宅介護支援事業所・地域包括支援センターへの営業を積極的に行う。
- ・感染症対策を徹底した上で、近隣町内会への体験会・見学会を開催し、サービスの広報活動に努めます。

4. 緑風園サテライト型特別養護老人ホーム ニナルカの里 事業計画

◎ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 定員：29名

◎ユニット型(介護予防)短期入所生活介護事業所 定員：11名

【事業方針】

地域に開かれた施設を目指すと共に、春夏秋冬の節句、行事を利用者、職員のみならず、コロナ禍の中での感染症対策を徹底しながら、利用者の家族、地域住民とも行うなど地域に密着した施設を目指す。

ショートステイ事業は、介護者の急病や冠婚葬祭などによる急な利用に対応できる緊急ショートステイ専用ベッドを1室用意し、迅速な対応が出来る環境を整え、幌別地区という立地を活用し、新規利用者拡大に努め、1日の利用者人数6名以上を目標にする。

<<各部門事業計画案>>別紙7～9参照

『今年度目標』

- ・入所者の平均介護度4.0以上を目指し、空床を作らないよう、待機者の状況を常に確認し、空床が出来た際には10日以内の受け入れを目指す。
- ・ショートステイの1日平均利用者6名以上を目標とし、緊急ショートステイの積極的な受け入れを行うと共に、新規利用者の確保に努める。
- ・コロナ禍の中で、感染症対策を徹底した上で、出来る範囲の季節の行事、個人にあった、個別性のあるサービスの提供に努める。

5. 緑風園居宅介護支援事業所 事業計画

【事業方針】

在宅の利用者の生活ニーズの把握に努め、効果的かつ実現可能な質の高い居宅サービス計画の作成に努めるとともに、利用者の医療ニーズが増加・多様化してきているため、医療機関との連携や多種職との協同が今まで以上に必要となってきたため、連携強化に努める。





2名体制の中で効率の良い稼働を目指し、実績数をあげる体制の構築を目指す。

<<部門事業計画案>>別紙10参照

『今年度目標』

- ・年度末の合計実績75件を目標とする
- ・各研修会への参加・関係機関とのネットワーク構築を積極的に図り、スキル向上に努める

別紙 1

総合施設長	責任者	合議 (管理係)	合議 (経理担当)
			

令和4年度 部門（ 事務管理 ） 事業計画案

責任者氏名：小林 覚

1. 基本方針

各事業・各部門サービスの運営・人事管理を適切に行う。




2. 本年度目標

- ・緑風園の設備・備品の保守及び修繕・入替を計画的にすすめる。
- ・施設サービス、居宅サービスの利用者増、稼働率の上昇に繋げる広報活動や他部門との協力体制の強化
- ・緑風園並びにニナルカの里の人事管理を適切に行い、特に介護部門の人員確保と業務改善を進める。

3. 役割分担

- ・管理係が中心となって、設備・備品の保守管理、できる限り自分たちで修繕を行う。
設備の老朽化に伴う備品等の入替の優先度を検討し、計画的にすすめる。
- ・サービス紹介パンフレット作成や地域住民向けのデイサービス体験会の企画、ホームページやfacebookを活用した広報活動を関係部署と協力しながら進めていく。
- ・事務係が中心となり、職員欠如の際の迅速な補充を目指すとともに、介護職員の業務改善を進める。

別紙 2

総合施設長	業務課長	責任者
		

令和4年度 部門（ 業務係・相談室 ） 事業計画案

責任者氏名：薮中 直亨

1. 基本方針

- ・ご利用者様の個別性を理解し、夫々が生きがいを持ち、生活を送ることが出来る様に地域の特性を活かし、ご満足のいただけるよう、他職種との連携を図る。
- ・指定居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療（地域の医療、福祉）と連携を図り、他事業所の横のつながりの強化、入所申込者の獲得、ショートステイ希望者の受け入れ及びリピーター獲得を図る。
- ・ご利用者様、ご家族様との連絡調整、連携を図り、懇切丁寧な対応に取り組む。
- ・地域特性を理解し、地域福祉へ貢献できる介護老人福祉施設を目指す。

2. 本年度目標

＜特養・ショートステイ共通＞

- ・退所者が出た場合、新規入所者を10日以内に入所できるよう、普段から待機を作る。
- ・平均介護度4.1、認知症高齢者自立度Ⅲを目指す。
- ・相談室内で常に情報を共有し、誰に聞いても答えられる環境を整え、お互いの業務の遂行状況を把握しながら、フォローし合い相談室のチーム力を向上させる。
- ・各セクションとの連携、情報共有をする。
- ・ご利用者様、ご家族様、外部の方、電話対応時は常に丁寧な言葉遣いで対応する。



＜ショートステイ＞

- ・1ヶ月の平均稼働率40%～60%を目指す。
- ・新規獲得の為の営業及び、リピーターを増やす。
- ・問い合わせ時、常に受ける姿勢で、利用できる日の提案をする。

3. 役割分担（相談室としての役割）

- ・ご利用者様、ご家族様、各セクションとの連携、相談全般業務。
- ・入所申込受付、問い合わせ対応、入所、退所手続き、各種書類の作成、依頼、連携、契約。
- ・入退院時の送迎、付き添い、連絡、調整、各種書類の依頼。
- ・各事業所、施設、病院、包括等、関係機関との連携。
- ・ショートステイの新規相談、受付、契約、各種書類の作成、送迎調整。
- ・市町村との連携。
- ・各種委員会、全体会議の開催、看取り開始、終了カンファレンスの開催、事故対策委員会の開催、各種行事全般調整、行事予定の作成。定期内部資料の作成。病床会議資料の作成。

別紙 3

総合施設長	責任者
	

令和4年度 部門（給食係）事業計画案

責任者氏名：中林 晴美

1. 基本方針

給食業務に関わる問題点について協議調整し、食事への満足感を持っていただけるように食事内容の充実を図り、栄養管理を行う。




2. 本年度目標

- ・安全で美味しく、見た目でも楽しめるような食事を提供する。
- ・経口摂取が維持できるようにし、利用者のQOLの維持、向上を目指す。
- ・利用者の栄養状態の維持・改善に努める。

3. 役割分担

- ・委託側と連携し、異物混入や誤配を防ぐよう意識を高める。
- ・彩り良く季節感を感じられる食事を提供する。
- ・他職種と連携することで利用者の咀嚼・嚥下状態などを把握し、それぞれに合った食事形態・食事量で食事を提供する。
- ・利用者一人ひとりに必要な栄養量を充足できる食事を提供できるよう、委託側と調整する。

別紙 4

総合施設長	業務課長	責任者
		

令和4年度 部門（施設ケア係）事業計画案

責任者氏名：橋本 淳一

1. 基本方針

利用者の生活の場として安心して楽しく暮らせる環境と空間を作り、利用者や家族の思いに寄り添ってニーズに応えるケア、サービス提供を行う。介護スタッフ全員が適切なケアの提供を行うために専門性を高める研修機会を設ける。




2. 本年度目標

長期化するコロナ禍の中、利用者が安全に安心して生活が出来、また、楽しく笑顔があふれる環境を作ります。

3. 役割分担

- ・ケア係長、主任 CW が中心となって他職種、他部門とのコミュニケーションを円滑に図り、利用者や御家族の思いに寄り添うケアの提供に努める。
- ・介護職員としての資質向上を目指し、スタッフひとりひとりが業務について考え、意見交換をし合う。
- ・定期的にリーダー会議（ケア係長、主任 CW）を開催して、ユニット間でのケアの質統一・向上、職場環境改善に努める。

別紙 5

総合施設長	業務課長	責任者
		

令和4年度 部門（ 看護係 ） 事業計画案

看護師氏名：反怖 真紀子

1. 基本方針

特養においての適切な看護援助を提供する。

2. 本年度目標

利用者の状況に応じた看護を行うことができる。



3. 役割分担

新規利用者の受け入れをマニュアルに沿って行う。また、新規利用者とその家族の情報収集に努める。

利用者の状態変化時は、速やかに家族に状態説明し意向に沿った看護援助を行う。

看取り介護へ移行となった利用者に対し、医師の指示のもとマニュアルに沿って看護援助を行う。

別紙 6

総合施設長	責任者
	

令和4年度 部門（ デイサービス ）事業計画案

責任者氏名：宮腰 和人

1. 基本方針

- 1) 利用者の尊厳の厳守
- 2) バイステック7原則の徹底
- 3) 自己のスキルアップや利用者の生活全般において、どのような課題があるか、ニーズがあるか発見をしたうえで、QOLを高めるための介護方法を提供できるように各々が勉強や資格取得に取り組む。
- 4) 専門性の見地と連携強化による在宅支援、地域ケアの基礎作り、責任的力の強化に努める。



2. 本年度目標

要介護者の利用に重点を置き、要支援者の利用も獲得しながら定員18の地域密着型通所介護の運営を行うため、利用回数の増加及び欠席者への振替利用の提案などを行う。他事業所への営業を定期的に行い、新規利用者の獲得、利用回転率を上げ1日利用回数16名を目指す。

3. 役割分担

- 1) 介護職・看護職・相談員の役割を明確にしつつも多職種で協力できる体制を整える。
- 2) 生活相談員を中心に、デイサービスの収益や現状の業務について理解を深めていく。
- 3) 重度化する利用者様へ対応できる職員の育成と医療・介護知識の強化
 - ・医療は看護師を中心に多職種への情報提供を行う。
 - ・介護は介護職を中心に多職種への情報提供を行う。
 - ・生活相談員は相談援助及び運営を中心に行い、多職種への情報提供を行う。
- 4) 環境整備の見直し、各備品等の修理や購入の相談を行い利用者の安全確保及び事故を未然に防げるようにしていく。

別紙 7

総合施設長		責任者
		

令和4年度 部門（ニナルカの里 業務係）事業計画案

責任者氏名：奥山 繁

1. 基本方針

- ・その人、個人にあった、個別性のあるサービス計画の策定
- ・入居者が営んでいた生活を尊重する施設づくり

2. 本年度目標

《特養》

- ・入所申込者上位のケアマネ、相談員に早めに連絡、10日以内の入所を目標とする
- ・施設スタッフや他関係機関との連携と情報交換を行う
- ・利用者、介護職員には常に笑顔で丁寧な言葉づかいで接する
- ・苦情件数0件



《ショート》

- ・1日延べ平均利用6名
- ・新規利用者の確保
- ・緊急ショートステイの円滑な受け入れ
- ・苦情件数0件

3. 役割分担

- ・相談業務全般、ケアプラン作成
- ・各事業所・各施設・家族・当施設職員への連絡調整
- ・申込状況把握・調整・入退所手続き
- ・地域、他事業所、病院、地域包括支援センターとの連携を図り、緊急時等適切な対応を行う（緊急時のショートステイ等）

別紙 8

総合施設長		責任者
		

令和4年度 部門（ニナルカの里 看護係）事業計画案

責任者氏名：宮崎 多恵子

1. 基本方針

多職種で連携し、入居者の体調管理を行い、医療機関と連携を図りながら快適な生活を送れるよう努める。



2. 本年度目標

- ・入居者一人ひとりと積極的に関わり、日々の生活の様子を把握し症状の早期発見や予防に努める。
- ・ご家族や多職種との情報共有を行い、尊厳のある生活を送れるよう努める。

3. 役割分担

- ・入居者の体調管理を行い、医師への的確に報告し診察補助を行う。
- ・対応できる医療についてご家族へ説明を行い、ご理解していただけるよう努める。
- ・体調不良時等入居者に変化があった場合、ご家族への報告を行う。
- ・入居者の状態について、介護職員が理解できるよう説明、助言を行い介護不安の軽減につなげていく。

別紙 9

総合施設長		責任者
		

令和4年度 部門（ ニナルカの里 施設ケア係 ） 事業計画案

責任者氏名：田中 由美子

1. 基本方針

ユニットケアの理解・個別介助の専門知識の向上を図り、入居者のニーズを真摯に受け止め、施設においても自宅での生活を継続できる為の仕組み作りに取り組む。

2. 本年度目標

コロナ禍でも快適に過ごせる暮らしの提供。高齢者虐待防止や身体拘束廃止の取り組み強化。ケアの質・専門性の向上を目指します。

3. 役割分担

○ユニット行事の充実

- ・季節を感じる事が出来る行事の実施と、心身が豊かで楽しみのある生活を送っていただけるよう取り組みます。
- ・コロナ禍でもご家族様と疎遠にならないような新たな取り組みを模索します。



○身体抑制・虐待ゼロ運動、リスクマネジメントの強化

- ・委員会を中心とし、施設全体で取り組む体制を整えます。
- ・安全かつ適切に、質の高いサービスを提供するために事故防止に努めます。
- ・ヒヤリハット事例の分析と防止対策を徹底することで事故を未然に防ぐ体制を整えます。

○コロナ禍でも可能な内部研修の充実

- ・感染対策を講じながら研修・勉強会を開催し、スタッフの専門性の更なるスキルアップに努めます。
- ・「分からない・知らない・できない」をなくすため、チームケア（情報交換・共有）の強化に努めます。

別紙 10

総合施設長		責任者
		

令和4年度 部門（ 居宅介護支援 ） 事業計画案

責任者氏名：津村 祥子

1. 基本方針

利用者様がその居宅において、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援します。

- ① 効果的かつ実現可能な質の高い居宅サービス計画の作成。
- ② 医療との連携および多職種協働の実践。
- ③ 関係市町村・地域包括支援センターおよび指定居宅サービス事業所との連携。

2. 本年度目標

- ① 年度末の合計受け持ち件数 75 件を目標とする。
- ② 各研修会への参加・関係機関とのネットワーク構築を積極的に図り、スキル向上に努める。

3. 役割分担

- ① 法人関係事業所との連携。
- ② 部署内および他部署との協力にて効率よく稼働できる体制の構築。